

# 杜の会便り(第6号)

2023年 11月 26 日

滝野6丁目自治会(杜の会)

## 滝野地区連合会の防災訓練に参加してきました！

先日10月30日(日)、滝野地区連合会主催の防災訓練に、滝野6丁目役員5名で参加してきました。今年度はHUG訓練という避難所運営訓練を行いました。HUG訓練とは、災害時に避難所を適切に運営するための知識やスキルを学ぶための、ボードゲームのような形式で行う訓練です。HUGは、Hinanzo(避難所)、Unei(運営)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味もあります。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられたそうです。

HUG訓練では、避難者の情報が書かれたカードを配り、避難所となる体育館や教室に見立てた紙の上に配置していきます。配置する際には、避難者のニーズや避難所の環境を考慮します。配置した後には、避難所の問題点や改善策をグループで話し合います。今回の訓練は、1グループ5～6人(他の自治会役員とのグループ)で行われました。話し合われた内容や感想は、まとめて

---

全体に発表します。他のグループの発表を聞くことで、避難時における視点が  
増え、より難しさを感じたり、避難に対する理解を深めることができました。実際  
に訓練してみて、また他のグループの発表を聞き、以下のようなことを考えまし  
た。

- まず、スタート直後は避難所となる体育館や教室、校庭をどのように使う  
か決まっています。避難所の受付や本部、体育館内の通路、物資の  
置き場、仮設トイレも含めて、どう配置するかを考えることから始まりま  
す。避難所を運営を行う役員のチームワークとリーダーシップ、決断力が  
とても大切だと感じました。
- その後、避難者が次から次へとやってきます。避難者の中には、高齢  
者、障害者、妊婦、乳幼児、持病がある方など、特別な配慮が必要な人  
がいます。そのような方々には、静かで快適な空間を確保することが大  
切です。
- 避難者の中には、家族や友人と一緒に避難したいという人もいます。そ  
のような方々には、できるだけ近くに配置してあげたいと考えました。しか  
し、避難所のスペースは限られているので、他の避難者とのバランスも  
考えなければならないことがわかりました。
- 避難者の中には、ペットを連れてくる人もいます。そのような方々には、  
ペットと一緒に過ごせる場所を用意する必要があります。ただ、ペットが  
他の避難者に迷惑をかけないように、気を付けなければなりません。



HUG訓練を通して、避難所運営には様々な課題や工夫があることを学びました。いざというときに避難所で役割を果たすことができるように、日頃から準備や訓練をしておく必要があり、HUG訓練は、そのイメージがしやすくなる有効な訓練だと思いました。

---

## 【お知らせ】印西総合病院の巡回バスについて

印西総合病院の巡回バスは、滝野5丁目、滝野中学校前に停留し、住民の通院に利用されています。しかしながら、停留所が限られているため、巡回バスに乗って通院したくても利用できない方々がいらっしゃいました。今般、滝野1,2丁目の住民から停留所を増やしてほしいといった要望がありましたため、現在の巡回ルート上で停留箇所を追加してほしいという要望書を滝野連合会から印西総合病院に提出しました。その結果、もとの保育園交差点付近(レインボーバスの滝野3丁目停留所付近、写真)に停留してもらえることが決定し、既に11月から運用されています。ダイヤ等の詳細はホームページで確認頂けますので、ご利用される方におかれましては、是非ご覧頂ければと思います。



以上